

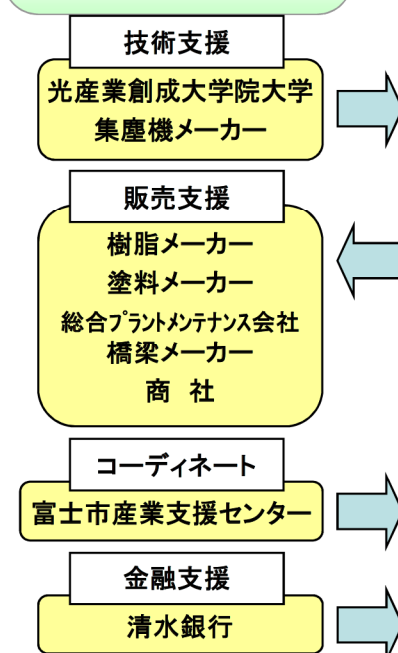
| | | | | |
|------|--------|-------|-----------|----------|
| 地域 | 静岡県富士市 | 認定日 | 平成24年2月3日 | 3-23-197 |
| 事業分類 | 建設 | テーマ分類 | その他 | |

事業名：レーザー塗膜除去装置の開発と事業化

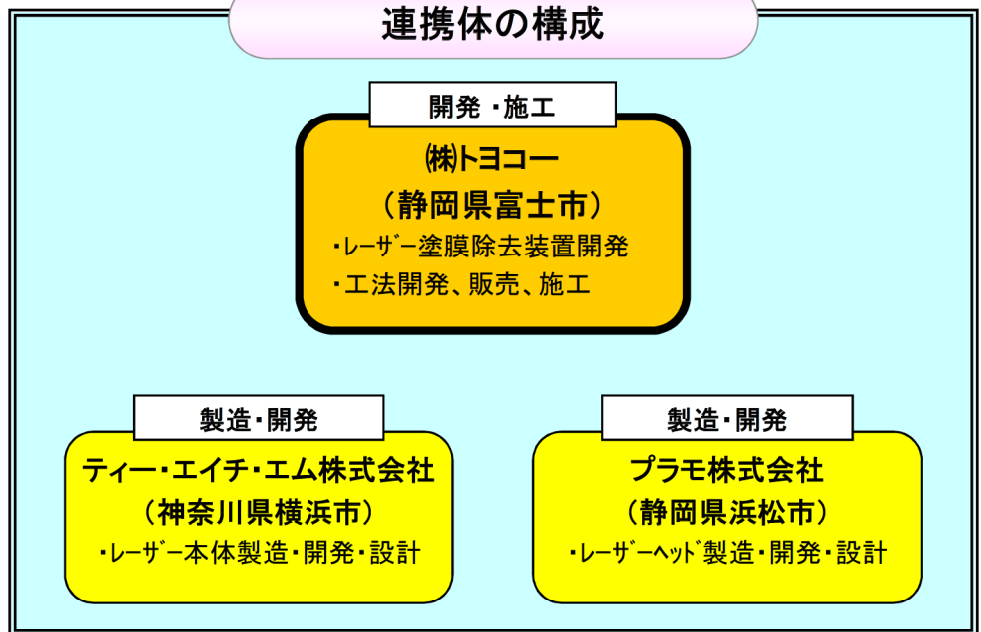
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・2007年アメリカミネソタ州で起きた橋崩落事故でも原因の一つに下地の腐食が挙げられているが、同様に日本の橋梁についても腐食を防止して延命化する為に、塗装を完全に除去して塗り替えを行うことが必要とされている。そのようなニーズを持つ国や自治体、道路会社・鉄道会社等に対して、大手メンテナンス会社や大手塗料メーカーを販路とし、レーザー装置を用いて塗膜を除去する施工の提供を行う。また、中小規模の案件に対しては全国の地場の施工業者に対してレーザー装置自体のレンタルを行う。
- ・今までに塗膜を除去する目的で開発されたレーザー装置(ハンディ)の事例がなく、連携企業の協力の元、建設現場で要求される条件を満たす、堅牢性や低コストを実現した装置構成となっている。
- ・日本国内における橋梁約15万橋が長寿命化修繕のターゲットとなる。大型タンクに於いては、開放検査に伴う定期点検工事、その他大型設備等の溶接前処理としてブラスト処理に変わる新技術として期待できる。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

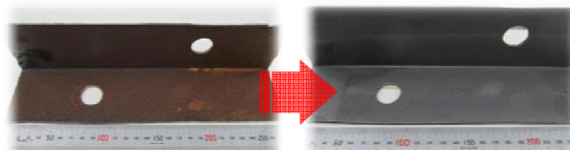
①補助金



レーザー塗膜除去装置



ボルト周辺部 除去



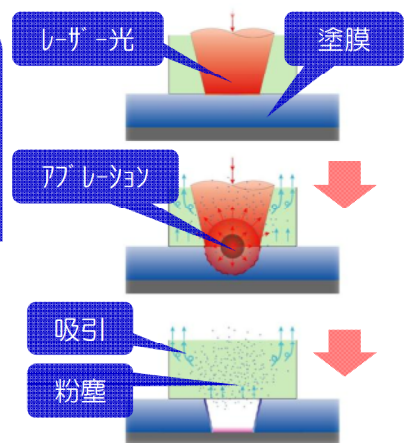
処理前

さび 除去

処理後

【特徴】

- ①下地ダメージ無し
- ②産廃量の抑制
- ③粉塵飛散の抑制
- ④さびの発生抑制



新技術メカニズム